

市

民の皆様には、輝かしい新年を迎え、健やかに
お過ごしのこととお慶び申し上げます。

日本を取り巻く世界情勢は、エジプト・リビアなど中東各国の民主化が進む一方で、ギリシャやイタリア等、ユーロ圏での債権不良問題が表面化し、ドル・ユーロ安が一層進んでかつてない円高による貿易赤字や企業の海外流出が懸念されております。

日本国内においても、昨年は東日本大震災と震災による福島原発事故という未曾有の被害に遭って、日本中が物心両面にわたり疲弊し大変な年でありました。

日本政府は東日本大震災からの復興に多額の予算を計上し、国民に大幅な増税負担を求めています。いまだ失業率も高止まりであり、日本経済の立て直しは依然として厳しいものがあります。国民が納得のいく復興計画のもとで早期解決を望みます。

当市においては、昨年は東日本大震災で家屋の棟瓦やブロック塀の倒壊など約千五百件余りの被害がありました。農作物についても、原発事故による放射能被害や風評被害など、多岐にわたってこうむった被害は甚大なものがあります。公共施設においても、南河内庁舎は倒壊の危険により南河内図書館や上下水道庁舎に機能移転せざるを得なくなり、また、ふれあい館においては天井の落下により温水プールが使用不能となるなど、市民の皆様にはご不便をおかけすることとなりました。現在も公共施設の早期復旧に取り組んでおります。

また、三月には「道の駅しもつけ」がオープンしました。市内外からたくさんのお客様にお越しいただいており、盛況で売り上げも順調に伸びております。五月には、天平の丘公園において合併五周年記念事業として栃木県植樹祭を開催し、コフク桜及びジウガツ桜を植樹しました。今後の公園活性化につながることを期待しております。十一月には、全国スポーツ・レクリエーション祭のフリー

参加種目であるキンボール大会が盛大に開催され、全国から多くの参加者にお越しいただきました。大会では婦人団体の協力のもと本市特産のかんぴょう汁が振る舞われ好評を博しました。いずれも地域の情報発信や交流の場として、当市が広くPRされたものと確信しております。

当市議会においては、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加に断固反対の意見書を、内閣総理大臣初め政府関係機関あてに提出しました。また、平成二十二年に立ち上げた「議会改革調査特別委員会」で議会機能のあり方、市民に開かれた議会等に関する事項の調査研究に取り組みました。

今年、議会改革はもちろん、地域防災計画の早急な見直し、市民の安全・安心な生活環境整備、新庁舎建設、市総合計画後期計画についても、しっかりと取り組んでまいります。特に、当市としての形づくりは十分か、今なすべきことは何か等、計画性を持って市の発展につながるよう慎重に議論を重ねてまいります。将来を見据えた当市の形づくりと、健全で安定した財政基盤の確立を目指し、議会と市長を初めとした執行部がさらに一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご理解と暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



下野市議会議長 岡本 鉄男